

大分大学大学院工学研究科博士後期課程

Oita University Graduate School of Engineering

学 生 募 集 要 項

Doctoral Course Admissions Guide

- ・ 秋季入学（平成22年10月入学）
- ・ Fall Admission (October 2010)
- ・ 春季入学（平成23年4月入学）
- ・ Spring Admission (April 2011)
- ・ 秋季入学（平成23年10月入学）
- ・ Fall Admission (October 2011)

一 般 入 試

Regular Admission

社 会 人 入 試

Admission for Working Adults

外 国 人 留 学 生 入 試

Admission for International Students

平成22年7月

July 2010



OITA UNIVERSITY

大 分 大 学

Oita University

目 次

CONTENTS

	ページ	page
大分大学大学院工学研究科博士後期課程アドミッション・ポリシー	1	(2)
Oita University Graduate School of Engineering Doctoral Course Admission Policy		
＜秋季入学＞平成22年10月入学		
Fall Admission: October 2010		
1. 入 試 日 程 Entrance Examination Schedule	7	(33)
2. 募 集 人 員 Admission Quota	7	(33)
3. 出 願 資 格 Eligibility for Application	7	(33)
(一般入試及び社会人入試, 外国人留学生入試)		
(Regular Admission, Admission for Working Adults, Admission for International Students)		
4. 入学者選抜方法の区分 Examination Types	8	(34)
5. 出 願 手 続 Application Procedures	8	(35)
6. 入学者の選抜方法 Examination Methods	10	(37)
7. 合 格 者 発 表 Announcement of Results	11	(38)
8. 入 学 手 続 Enrollment Procedures	11	(38)
9. 入 学 料 及 び 授 業 料 Enrollment Fee and Tuition Fees	11	(39)
10. 注 意 事 項 Important Notes	12	(39)
＜春季入学＞平成23年4月入学及び＜秋季入学＞平成23年10月入学		
Spring Admission: April 2011 and Fall Admission: October 2011		
1. 入 試 日 程 Entrance Examination Schedule	15	(43)
2. 募 集 人 員 Admission Quota	15	(43)
3. 出 願 資 格 Eligibility for Application	15	(43)
(一般入試及び社会人入試, 外国人留学生入試)		
(Regular Admission, Admission for Working Adults, Admission for International Students)		
4. 入学者選抜方法の区分 Examination Types	16	(45)
5. 出 願 手 続 Application Procedures	17	(45)
6. 入学者の選抜方法 Examination Methods	19	(47)
7. 合 格 者 発 表 Announcement of Results	20	(49)
8. 入 学 手 続 Enrollment Procedures	21	(49)
9. 入 学 料 及 び 授 業 料 Enrollment Fee and Tuition Fees	21	(49)
10. 注 意 事 項 Important Notes	21	(50)
＜共通事項＞Information for all Applicants		
大分大学大学院工学研究科博士後期課程出願資格認定について	25	(53)
Doctoral Course Applicant Eligibility Screening, Oita University Graduate School of Engineering		
長期履修制度について Long-term Study System	25	(53)
障がいのある者等の事前相談について	25	(54)
Advance Consultation for Students with Disabilities, etc		
博士後期課程教育研究分野	26	(54)
Education and Research Areas in the Doctoral Course		
1. 専攻の概要		
Outline of the Majors		
2. 博士後期課程の教育研究分野及び授業科目		
Doctoral Course Education and Research Areas and Subjects		
大分大学位置図及び学内案内図 Oita University Location and Campus Map	61	(61)

大分大学大学院工学研究科博士後期課程アドミッション・ポリシー

基本理念

質の高い特色ある教育と研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献するとともに、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成することを理念とします。

教育・研究の目標

本学の教育・研究の目標を踏まえ、工学研究科博士後期課程においては、各専攻分野における高度でかつ最先端の知識を身につけ、独立して研究を展開し、国際的に活躍できる指導的技術者・研究者を育成することを目標とします。

求める学生像

前述の目標を達成するために、工学研究科博士後期課程においては次のような意欲と熱意をもった人を求めます。

- 1 科学技術を深く探求し、独創的研究に取り組む意欲を持つ人
- 2 新たな分野や理論の創出に意欲を持つ人
- 3 国際的視野や感覚をもち、世界的研究を目指す人
- 4 人間性が豊かで、人類福祉に貢献しようとする志を持つ人

入学者選抜の基本方針

本研究科では、前述の「求める学生像」にふさわしい人を選抜するために、一般入試のほかに特別入試（社会人、外国人留学生）を実施し、学生を選考します。

・一般入試

志望する研究分野の基礎となる科目と英語の筆記試験、修士論文又は研究成果、志望する研究分野に関する科目、入学後の研究計画等についての口述試験及び書類審査の結果を総合して選抜します。

・社会人入試

志望する研究分野に関する専門科目、英語、研究業績、入学後の研究計画等についての口述試験と書類審査の結果を総合して選抜します。また、研究計画書及び職務履歴書について試問します。

・外国人留学生入試

一般入試に準じます。ただし、筆記試験は、志望する研究分野の基礎となる科目と日本語とします。

Oita University Graduate School of Engineering Doctoral Course

Admission Policy

Mission Statement:

The first aim of the Doctoral Course is to conduct high-quality research, and to provide quality education that will develop student creativity. The second aim is to achieve global standards of science and technology which will enable researchers to make significant contributions to the local community.

Educational and Research Objectives:

In line with the educational and research objectives of the university as a whole, the objective of the Graduate School of Engineering Doctoral Course is to train leading technical experts and researchers who would gain advanced and high-technology knowledge in their respective fields of specialization and capable of engaging in independent research and playing active roles internationally.

Required Qualifications:

In order to achieve the above mentioned aims, we seek candidates who have an interest in and passion for scientific research.

1. Candidates should show an eagerness to engage in meaningful scientific and technological inquiry, and also have the ability to pursue original and creative research.
2. Candidates should have the potential to formulate new fields and theories.
3. Candidates should have a cosmopolitan outlook and a desire to pursue research in the global arena.
4. They should have a sense of understanding humanity and be motivated to make contributions to the welfare of mankind.

Selection Process for Admission:

In order to accept candidates who have the necessary qualifications listed above, the Graduate School administration will screen applicants by means of regular admission and by means of special admissions for working adults and international students.

·Regular Admission

Candidates will be selected on the basis of a comprehensive assessment of their performance on written tests of English language and on subjects related to their intended research fields in doctoral courses and on interviews on Master's theses or other research achievement and written document screenings concerning subjects related to their intended research fields and their plans for research after admission

·Admission for Working Adults

Candidates will be selected on the basis of a comprehensive assessment of their performance in interviews and written document screenings concerning subjects related to their intended research fields, English language, research achievements and plans for research after admission. They will also be questioned on their research proposals and work histories.

·Admission for International Students

Applicants will be assessed in accordance with the procedures for regular admission. Also, written examinations will cover material to applicants' intended research field and Japanese language.

秋 季 入 学

(平成22年10月入学)

1. 入試日程

区分	第1次募集
出願期間	平成22年7月23日(金)～平成22年7月30日(金)
試験日	平成22年8月17日(火)～平成22年8月18日(水)
合格者発表	平成22年8月31日(火)

2. 募集人員

専攻名	募集人員
	平成22年10月入学
物質生産工学専攻	若干名
環境工学専攻	若干名

- ※ 募集人員の中には、各専攻とも社会人入試の人員を含みます。
- ※ 外国人留学生入試による募集人員は若干名とし、定員外とします。

3. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成22年9月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成22年9月までに授与される見込みの者 ※(注1) 参照
- (3) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成22年9月までに授与される見込みの者
- (4) 大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者 ※(注2) 参照
- (5) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者 ※(注3) 参照

※(注1)

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者を含む。

※(注2)

「出願資格の(4)」は、修士の学位を有しない者も、大学卒業の資格を有する者であれば、大学卒業後大学や研究所等において、2年以上研究に従事した場合には、その研究の成果等について入学を希望する大学院が個別に審査して、「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力がある」と認めた場合には、当該大学院が行う博士後期課程の入学試験の受験を認めるものです。(以下、「出願資格認定」といいます。)

※(注3)

「出願資格の(5)」については、大学卒業資格を有しない者でも、短期大学、高等専門学校、専修学校、

各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であって、24歳以上の者は、大学院が行う個別の「出願資格認定」を受け、当該大学院博士後期課程の入学の出願を行うことができるとしているものです。

- ◎ 「出願資格の（４）又は（５）」により受験する場合、その他、出願資格について疑問がある場合は、出願前に、入試課に問い合わせてください。また、「出願資格認定」の手続きについては、25ページの「大分大学大学院工学研究科博士後期課程出願資格認定について」を参照してください。

4. 入学者選抜方法の区分

入学者選抜方法及びその受験資格は次のとおりです。

（１）一般入試

上記「3. 出願資格」(1), (2), (3), (4) 又は (5) のいずれかに該当する者で社会人入試及び外国人留学生入試を希望しない者

（２）特別入試

① 社会人入試

次のいずれかに該当する者で社会人入試の受験を希望する者

- ・ 出願資格（１），（２）又は（３）に該当する者で、大学卒業後、企業等に２年以上正規職員として勤務中であり、在職のまま入学を希望する者
- ・ 出願資格（４）に該当する者で、大学卒業後、企業等に４年以上（上記（４）による研究に従事した２年以上の期間を含む。）正規職員として勤務中であり、在職のまま入学を希望する者
- ・ 出願資格（５）に該当する者で、当該学校等卒業後、企業等に４年以上正規職員として勤務中であり、在職のまま入学を希望する者

② 外国人留学生入試

出入国管理及び難民認定法別表第１に定める「留学」の在留資格により在留する者又は在留しようとする外国人で、外国人留学生入試の受験を希望する者

5. 出願手続

（１）出願受付期間

平成22年7月23日（金）から平成22年7月30日（金）までの間（土曜日、日曜日を除く）

受付時間は、9時から17時まで

なお、郵送による場合は、7月30日（金）17時必着とします。

（２）出願方法

① 出願を希望する者は、あらかじめ志望する専攻の希望する指導教員と研究内容等について相談の上、出願してください。

② 入学志願者は、下記の出願書類等を一括し、持参又は郵送により提出してください。

なお、郵送の場合は、所定の封筒を用い、必ず書留郵便としてください。

提出先 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

(3) 出願書類等

◎ 一般入試

入学志願書 受験票	本学所定の用紙に、必要事項を記入し、上半身正面向きの写真（4 cm×3 cm）を所定欄に貼付してください。
修了（見込） 証明書	出身大学長（研究科長）が作成したもの （平成22年9月本研究科博士前期課程修了見込者は提出する必要はありません。）
成績証明書	出身大学長（研究科長）が作成し厳封したもの
修士学位論文 の要旨	本学所定の用紙に2,000字（英語の場合は700words）以内で記入してください。 ただし、博士前期課程又は修士課程修了見込みの者は、修士論文の題目とその研究の進捗状況について要約したもの なお、関連した論文又は学術講演、特許等がある場合は、その写しを添付してください。
研究（希望） 計画書	本学所定の用紙に、希望する研究テーマ又は分野に関して、その目的及び構想について研究指導を希望する教員と相談のうえ1,000字（英語の場合は500words）以内で記入してください。
入学検定料払込 証明書 （30,000円）	以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。 ①金融機関（郵便局又はゆうちょ銀行を含む）での払込 本学所定の振込用紙を用い、金融機関（郵便局又はゆうちょ銀行を含む）窓口で振込手続を行ってください。 ②コンビニエンスストア（一部）での払込 本学ホームページ http://www.oita-u.ac.jp/ から払込専用ホームページへアクセスするか、直接下記URLにアクセスし、指示に従い払込手続を行ってください。 （払込専用URL） http://www.oita-u.net/ （携帯電話用URL） http://www.oita-u.net/mobile/ ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からはアクセスできないことがあります。  振込み後は、①の場合は「郵便振替払込受付証明書（大学提出用）」を、②の場合は収納証明書（コンビニによっては領収書）を、受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。手数料は本人負担です。 ただし、国費外国人留学生及び平成22年9月に本学研究科博士前期課程又は修士課程を修了見込みの者で、引き続き本課程に進学する者は納付する必要はありません。
受験票返送用封筒	本学所定の封筒に住所・氏名・郵便番号を記入し、350円切手を貼付してください。（出願書類等を持参する者は提出する必要はありません。）
合格通知用 住所シール	本学所定の用紙に記入してください。

- (注) 1. 出願資格（4）又は（5）に該当する者で修士の学位を有しない者は、「修了証明書」、「成績証明書」「修士学位論文の要旨」を提出する必要はありません。
2. 証明書は原本 (ORIGINAL) とし、複写 (COPY) は無効とします。
3. 研究（希望）計画書は、希望指導教員の印鑑が必要です。

◎ 社会人入試

本要項9ページの「一般入試の出願書類」に定めるもののほかに、下記の書類を提出してください。

職務履歴書 (その1 職務内容)	本学所定の用紙に、職務内容、学術論文、研究報告、著書、特許・実用新案等社会における研究活動状況を示すものを記入してください。
職務履歴書 (その2 論文・発表・特許等)	
入学承諾書	本学所定の用紙に、勤務先の所属長等が作成したもの

◎ 外国人留学生入試

本要項9ページの「一般入試の出願書類」に定めるもののほかに、下記の書類を提出してください。

外国人登録原票 記載事項証明書	既に、日本に在住する外国人で外国人登録原票記載事項証明書を受けている場合
国費外国人留学生 証明書	外国人留学生で、日本政府（国費）の留学生は、それを証明するものを添付してください。（出身大学の担当部署の証明とし、様式は問いません。）

6. 入学者の選抜方法

(1) 選抜方法の内容

① 一般入試

選考は、学力検査及び書類審査により行います。

学力検査は、筆記試験（専門科目、英語）及び口述試験により行います。

② 社会人入試

選考は、学力検査及び書類審査により行います。

学力検査は、口述試験により行います。

③ 外国人留学生入試

一般入試に準じて行います。ただし、筆記試験は、専門科目と日本語を課します。

(2) 筆記試験の内容

① 専門科目（志望する研究分野の基礎となる科目）

② 英語（外国人留学生入試は日本語）

(3) 口述試験の内容

① 一般入試における口述試験

口述試験は、修士論文（修了見込みの者は研究の進捗状況）又は研究成果、志望する研究分野に関する科目、入学後の研究計画等について行います。

② 社会人入試における口述試験は、志望する研究分野に関する専門科目、英語、研究業績、入学後の研究計画等について行います。

また、研究計画書及び職務履歴書について試問します。

③ 外国人留学生入試における口述試験は、一般入試における口述試験に準じて行います。

(4) 学力検査の日時, 場所等

① 学力検査の日時

イ. 一般入試及び外国人留学生入試

期 日	試 験 区 分	試 験 時 間	
平成22年8月17日(火)	筆 記 試 験	専 門 科 目	9 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0
		英 語 又 は 日 本 語	1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 3 0
	口 述 試 験	1 3 : 3 0 ~	

(注) 平成22年9月に本研究科博士前期課程を修了見込みの者は, 筆記試験を免除します。

ロ. 社会人入試

期 日	試 験 区 分	試 験 時 間
平成22年8月17日(火) 又は 平成22年8月18日(水) のどちらかの日で受験者が 希望する日	口 述 試 験	1 3 : 3 0 ~

- ② 検査場 大分大学工学部
大分市大字巨野原700番地

7. 合格者発表

平成22年8月31日(火)午前10時に中央掲示板(大分大学教養教育棟前)に掲示するとともに, 合格者には合格通知書を送付します。

また, 本学ホームページ(<http://www.oita-u.ac.jp/>)にも合格者受験番号を掲載します。

なお, 電話による可否の問い合わせには一切お応えできません。

8. 入学手続

合格者には, 合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

9. 入学科及び授業料

- ① 入学科 282,000円

(注) 国費外国人留学生及び平成22年9月に本学研究科博士前期課程又は修士課程を修了し, 引き続き本課程に進学する者は納付する必要はありません。

- ② 授業料(年額) 535,800円(前期分 267,900円 後期分 267,900円)

(注) 1. 入学科・授業料については, 免除・徴収猶予・奨学融資の制度があります。申請手続は入学科・授業料の納付前に行う必要がありますので, 詳細については学生支援課奨学支援グループ(TEL 097-554-7386)へ問い合わせてください。

2. 授業料については, 希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

3. 入学科, 授業料は改定の可能性があります。在学中に授業料改定が行われた場合には, 新授業料が適用されます。

4. 国費外国人留学生については, 納付する必要はありません。

10. 注意事項

- (1) 試験室等の配置図を学力検査当日に渡します。
- (2) 一般入試及び外国人留学生入試における筆記試験受験者は、試験当日8時40分までに工学部学務係に集合してください。
- (3) 社会人入試受験者は、試験当日13時10分までに工学部学務係に集合してください。
- (4) 出願書類等の不備なものは受理しません。
- (5) 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- (6) 本学所定の用紙に記入の際は、パソコン又はワープロ等を使用しても差し支えありません。
- (7) 出願書類様式中、「修士学位論文要旨」、「研究（希望）計画書」、「職務履歴書」（社会人入試用）、「入学承諾書」（社会人入試用）、出願資格認定願書（出願資格認定用）、「出願資格認定審査調書」（出願資格認定用）、「研究業績調書」（出願資格認定用）については、本様式に準じて、パソコン又はワープロ等を使用して別途作成したものを使用することは差し支えありません。
なお、マイクロソフトワード文書ファイル（windows版）で作成した上記出願書類様式の配布を希望される方は、大分大学ホームページからダウンロードできます。詳細は入試課（TEL 097 - 554 - 6701）へ問い合わせてください。
- (8) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にあつては、選考資料として利用します。
- (9) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

春 季 入 学

(平成23年4月入学)

秋 季 入 学

(平成23年10月入学)

1. 入試日程

区分	第1次募集	第2次募集	第3次募集
出願期間	平成22年7月23日(金) ～平成22年7月30日(金)	平成23年1月28日(金) ～平成23年2月10日(木)	平成23年2月25日(金) ～平成23年3月10日(木)
試験日	平成22年8月17日(火) ～平成22年8月18日(水)	平成23年2月16日(水) ～平成23年2月17日(木)	平成23年3月15日(火) ～平成23年3月16日(水)
合格者発表	平成22年8月31日(火)	平成23年2月25日(金)	平成23年3月19日(土)

※ 募集人員に満たない場合は、第3次募集まで実施予定です。

※ 第2次募集、第3次募集を行う場合は、大分大学ホームページでお知らせします。

2. 募集人員

専攻名	募集人員	
	平成23年4月入学	平成23年10月入学
物質生産工学専攻	6名	
環境工学専攻	6名	

※ 募集人員の中には、各専攻とも 社会人入試の人員を含みます。

※ 外国人留学生入試による募集人員は若干名とし、定員外とします。

※ 平成23年度の各専攻の募集人員は、4月入学、10月入学あわせて6名です。

3. 出願資格

平成23年4月入学

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成23年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成23年3月までに授与される見込みの者 ※(注1)参照
- (3) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成23年3月までに授与される見込みの者
- (4) 大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者 ※(注2)参照
- (5) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者 ※(注3)参照

平成23年10月入学

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成23年9月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成23年9月までに授与される見込みの者 ※(注1)参照
- (3) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成23年9月までに授与される見込みの者
- (4) 大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者 ※(注2)参照
- (5) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者 ※(注3)参照

※(注1)

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者を含む。

※(注2)

「出願資格の(4)」は、修士の学位を有しない者も、大学卒業の資格を有する者であれば、大学卒業後に大学や研究所等において、2年以上研究に従事した場合には、その研究の成果等について入学を希望する大学院が個別に審査して、「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力がある」と認めた場合には、当該大学院が行う博士後期課程の入学試験の受験を認めるものです。(以下、「出願資格認定」といいます。)

※(注3)

「出願資格の(5)」については、大学卒業資格を有しない者でも、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であって、24歳以上の者は、大学院が行う個別の「出願資格認定」を受け、当該大学院博士後期課程の入学の出願を行うことができるとしているものです。

- ◎ 「出願資格の(4)又は(5)」により受験する場合、その他、出願資格について疑問がある場合は、出願前に、入試課に問い合わせてください。また、「出願資格認定」の手続きについては、25ページの「大分大学大学院工学研究科博士後期課程出願資格認定について」を参照してください。

4. 入学者選抜方法の区分

入学者選抜方法及びその受験資格は次のとおりです。

(1) 一般入試

上記「3. 出願資格」(1), (2), (3), (4)又は(5)のいずれかに該当する者で社会人入試及び外国人留学生入試を希望しない者

(2) 特別入試

① 社会人入試

次のいずれかに該当する者で社会人入試の受験を希望する者

- ・出願資格（１）、（２）又は（３）に該当する者で、大学卒業後、企業等に２年以上正規職員として勤務中であり、在職のまま入学を希望する者
- ・出願資格（４）に該当する者で、大学卒業後、企業等に４年以上（上記（４）による研究に従事した２年以上の期間を含む。）正規職員として勤務中であり、在職のまま入学を希望する者
- ・出願資格（５）に該当する者で、当該学校等卒業後、企業等に４年以上正規職員として勤務中であり、在職のまま入学を希望する者

② 外国人留学生入試

出入国管理及び難民認定法別表第１に定める「留学」の在留資格により在留する者又は在留しようとする外国人で、外国人留学生入試の受験を希望する者

5. 出願手続

(1) 出願受付期間

平成２２年７月２３日（金）から平成２２年７月３０日（金）までの間（土曜日、日曜日を除く）
受付時間は、９時から１７時まで

なお、郵送による場合は、７月３０日（金）１７時必着とします。

※第２次募集・第３次募集の日程は１５ページ「1. 入試日程」をご参照下さい。

(2) 出願方法

- ① 出願を希望する者は、あらかじめ志望する専攻の希望する指導教員と研究内容等について相談の上、出願してください。
- ② 入学志願者は、下記の出願書類等を一括し、持参又は郵送により提出してください。
なお、郵送の場合は、所定の封筒を用い、必ず書留郵便としてください。
提出先 〒８７０－１１９２ 大分市大字旦野原７００番地 大分大学学生支援部入試課

(3) 出願書類等

◎ 一般入試

入学志願書 受験票	本学所定の用紙に、必要事項を記入し、上半身正面向きの写真（4 cm×3 cm）を所定欄に貼付してください。
修了（見込） 証明書	出身大学長（研究科長）が作成したもの （平成23年3月本研究科博士前期課程修了見込者は提出する必要はありません。）
成績証明書	出身大学長（研究科長）が作成し厳封したもの
修士学位論文 の要旨	本学所定の用紙に2,000字（英語の場合は700words）以内で記入してください。 ただし、博士前期課程又は修士課程修了見込みの者は、修士論文の題目とその研究の進捗状況について要約したもの なお、関連した論文又は学術講演、特許等がある場合は、その写しを添付してください。
研究（希望） 計画書	本学所定の用紙に、希望する研究テーマ又は分野に関して、その目的及び構想について研究指導を希望する教員と相談のうえ1,000字（英語の場合は500words）以内で記入してください。
入学検定料払込 証明書 (30,000円)	以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。 ①金融機関（郵便局又はゆうちょ銀行を含む）での払込 本学所定の振込用紙を用い、金融機関（郵便局又はゆうちょ銀行を含む）窓口で振込手続を行ってください。 ②コンビニエンスストア（一部）での払込 本学ホームページ http://www.oita-u.ac.jp/ から払込専用ホームページへアクセスするか、直接下記URLにアクセスし、指示に従い払込手続を行ってください。 （払込専用URL） http://www.oita-u.net/ （携帯電話用URL） http://www.oita-u.net/mobile/ ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からはアクセスできないことがあります。  振込み後は、①の場合は郵便振替払込受付証明書（大学提出用）を、②の場合は収納証明書（コンビニによっては領収書）を、受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。手数料は本人負担です。 ただし、国費外国人留学生及び平成23年3月又は平成23年9月に本研究科博士前期課程又は修士課程を修了見込みの者で、引き続き本課程に進学する者は納付する必要はありません。
受験票返送用封筒	本学所定の封筒に住所・氏名・郵便番号を記入し、350円切手を貼付してください。（出願書類等を持参する者は提出する必要はありません。）
合格通知用 住所シール	本学所定の用紙に記入してください。

- (注) 1. 出願資格(4)又は(5)に該当する者で修士の学位を有しない者は、「修了証明書」、「成績証明書」、「修士学位論文の要旨」を提出する必要はありません。
2. 証明書は原本 (ORIGINAL) とし、複写 (COPY) は無効とします。
3. 研究（希望）計画書は、希望指導教員の印鑑が必要です。

◎ 社会人入試

本要項 18 ページの「一般入試の出願書類」に定めるもののほか、下記の書類を提出してください。

職務履歴書 (その1 職務内容)	本学所定の用紙に、職務内容、学術論文、研究報告、著書、特許・実用新案等社会における研究活動状況を示すものを記入してください。
職務履歴書 (その2 論文・発表・特許等)	
入学承諾書	本学所定の用紙に、勤務先の所属長等が作成したもの

※ 出願受付期間、試験日時については、4月入学及び10月入学について同一日程で行います。

◎ 外国人留学生入試

本要項 18 ページの「一般入試の出願書類」に定めるもののほか、下記の書類を提出してください。

外国人登録原票 記載事項証明書	既に、日本に在住する外国人で外国人登録原票記載事項証明書を受けている場合
国費外国人留学生 証明書	外国人留学生で、日本政府（国費）の留学生は、それを証明するものを添付してください。（出身大学の担当部署の証明とし、様式は問いません。）

※ 出願受付期間、試験日時については、4月入学及び10月入学について同一日程で行います。

6. 入学者の選抜方法

(1) 選抜方法の内容

① 一般入試

選考は、学力検査及び書類審査により行います。

学力検査は、筆記試験（専門科目、英語）及び口述試験により行います。

② 社会人入試

選考は、学力検査及び書類審査により行います。

学力検査は、口述試験により行います。

③ 外国人留学生入試

一般入試に準じて行います。ただし、筆記試験は、専門科目と日本語を課します。

※ 博士前期課程又は修士課程在学中の者については、第1次選考と第2次選考により入学者選抜を行います。

第1次選考は、学力検査及び書類審査により平成22年8月17日（火）に行い、第2次選考は、第1次選考合格者を対象として、修士論文が完成する頃に別途各専攻から通知する日程（平成23年3月博士前期課程又は修士課程修了予定者については、平成23年2月中旬、平成23年4月以降の博士前期課程又は修士課程修了予定者については平成23年8月中旬）で、口述試験により行います。

(2) 筆記試験の内容

① 専門科目（志望する研究分野の基礎となる科目）

② 英語（外国人留学生入試は日本語）

(3) 口述試験の内容

① 一般入試における口述試験

口述試験は、修士論文（修了見込みの者は研究の進捗状況）又は研究成果、志望する研究分野に関する科目、入学後の研究計画等について行います。

- ② 社会人入試における口述試験は、志望する研究分野に関する専門科目、英語、研究業績、入学後の研究計画等について行います。

また、研究計画書及び職務履歴書について試問します。

- ③ 外国人留学生入試における口述試験は、一般入試における口述試験に準じて行います。

(4) 学力検査の日時、場所等

① 学力検査の日時

イ. 一般入試及び外国人留学生入試

期 日	試 験 区 分		試 験 時 間
平成22年8月17日(火)	筆 記 試 験	専 門 科 目	9 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0
		英 語 又 は 日 本 語	1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 3 0
	口 述 試 験		1 3 : 3 0 ~

※ 第2次募集・第3次募集の日程は15ページ「1. 入試日程」をご参照下さい。

(注) 平成23年3月、又は平成23年9月に本研究科博士前期課程を修了見込みの者は、筆記試験を免除します。

ロ. 社会人入試

期 日	試 験 区 分	試 験 時 間
平成22年8月17日(火) 又は 平成22年8月18日(水) のどちらかの日で受験者が 希望する日	口 述 試 験	1 3 : 3 0 ~

※ 第2次募集・第3次募集の日程は15ページ「1. 入試日程」をご参照下さい。

② 検査場 大分大学工学部

大分市大字旦野原700番地

7. 合格者発表

平成22年8月31日(火)午前10時に中央掲示板(大分大学教養教育棟前)に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

また、本学ホームページ(<http://www.oita-u.ac.jp/>)にも合格者受験番号を掲載します。

ただし、電話による可否の問い合わせは一切お応えできません。

なお、平成23年3月以降に博士前期課程又は修士課程を修了見込みの者については、以下の要領で合格者発表を行います。

- ① 第1次選考の合格者発表……平成22年8月31日(火)午前10時に中央掲示板(大分大学教養教育棟前)に掲示するとともに、合格者には第1次合格通知書を送付します。

- ② 第2次選考の合格者発表……平成23年3月博士前期課程又は修士課程修了予定者については、平

成23年3月上旬に、平成23年4月以降博士前期課程又は修士課程修了予定者については、平成23年9月上旬に中央掲示板（大分大学教養教育棟前）に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。また、本学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）にも合格者受験番号を掲載します。

※第2次募集・第3次募集の日程は15ページ「1. 入試日程」をご参照下さい。

8. 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

9. 入学料及び授業料

① 入学料 282,000円

（注）国費外国人留学生及び平成23年3月に本学研究科博士前期課程又は修士課程を修了し、引き続き本課程に進学する者は納付する必要はありません。また、平成23年9月に本学研究科博士前期課程又は修士課程を修了し、引き続き本課程に進学する者も納付する必要はありません。

② 授業料（年額） 535,800円（前期分 267,900円 後期分 267,900円）

（注）1. 入学料・授業料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度があります。申請手続きは納付前に行う必要がありますので、学生支援課奨学支援グループ（TEL 097 - 554 - 7386）へ問い合わせてください。

2. 授業料については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

3. 入学料、授業料は改定の可能性があります。在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

4. 国費外国人留学生については、納付する必要はありません。

10. 注意事項

（1）試験室等の配置図を学力検査当日に渡します。

（2）一般入試及び外国人留学生入試における筆記試験受験者は、試験当日8時40分までに工学部学務係に集合してください。

（3）社会人入試受験者は、試験当日13時10分までに工学部学務係に集合してください。

（4）出願書類等の不備なものは受理しません。

（5）受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

（6）本学所定の用紙に記入の際は、パソコン又はワープロ等を使用しても差し支えありません。

（7）出願書類様式中、「修士学位論文要旨」、「研究（希望）計画書」、「職務履歴書」（社会人入試用）、「入学承諾書」（社会人入試用）、出願資格認定願書（出願資格認定用）、「出願資格認定審査調書」（出願資格認定用）、「研究業績調書」（出願資格認定用）については、本様式に準じて、パソコン又はワープロ等を使用して別途作成したものを使用することは差し支えありません。

なお、マイクロソフトワード文書ファイル（windows版）で作成した上記出願書類様式の配布を希望される方は、大分大学ホームページからダウンロードできます。詳細は入試課（TEL 097 - 554 - 6701）へ問い合わせてください。

（8）入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、

入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学科・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にとっては、選考資料として利用します。

(9) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

共 通 事 項

- ・ 大分大学大学院工学研究科博士後期課程
出願資格認定について
- ・ 長期履修制度について
- ・ 障がいのある者等の事前相談について
- ・ 博士後期課程教育研究分野
- ・ 大分大学位置図及び学内案内図

大分大学大学院工学研究科博士後期課程出願資格認定について

1. 修士の学位を有しない者で7,15ページの「出願資格(4)又は(5)」の「出願資格認定」により出願する者は、出願する前に工学研究科の行う「出願資格認定」を受ける必要があります。事前に、電話等により入試課に申し出のうえ、別添「出願資格認定願書」に「出願資格認定審査調書」、「研究業績調書」、卒業証明書及び論文等の別刷又は写し(各1部又は1冊)を添付し、下記期間までの間に入試課へ提出してください。(なお、論文等の別刷又は写しについては、返却します。)

また、別添出願資格認定願書等のマイクロソフトワード文書ファイル(windows版)の配布を希望する場合は、大分大学ホームページからダウンロードできます。詳細は入試課(TEL 097-554-6701)へ問い合わせてください。

第1次募集：平成22年7月5日(月)～平成22年7月14日(水)

第2次募集：平成23年1月11日(火)～平成22年1月19日(水)

第3次募集：平成23年2月7日(月)～平成23年2月16日(水)

2. 出願資格認定の結果は、平成22年7月22日(木)までに通知します。

【第2次募集は平成23年1月27日(木)、第3次募集は平成23年2月24日(木)】

3. 出願手続は、出願資格認定の結果を受けてから行ってください。

長期履修制度について

大分大学大学院工学研究科博士後期課程においては、社会人入学者等について、長期履修を認めています。

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により、常時大学で勉学することが困難な学生に対して、標準修業年限(博士後期課程は3年)を超えて、3年6月以上6年以内の希望する期間で計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。この間の授業料は、履修期間に応じて按分することとしています。

長期履修制度を適用される者は次に掲げる学生です。

一 社会人学生

二 研究科長が特に必要と認めた学生

長期履修を希望する場合は、入学手続き時又は入学後1年以内に申請することとしています。

障がいのある者等の事前相談について

本学へ入学を志願する者のうち、障がいのある者等で、受験上及び就学上特別の配慮を必要とする場合は、平成22年8月2日(月)までに、下記の事項を記載して(様式任意)、医師の診断書を添え入試課に提出してください。

【第2次募集は平成23年1月31日(月)、第3次募集は平成23年2月28日(月)】

- ・障がいの種類・程度
- ・受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・就学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・日常生活の状況及びその他参考となる事項

博士後期課程教育研究分野

1. 専攻の概要

【物質生産工学専攻】

現代社会を構成する機能要素としての物質の機能の解明，生産技術の開発，さらに物質に付加された各種の情報の生産と処理技術に関する教育研究を行います。

科学技術の発展は，新しい物質の発見と，それを生産する技術の改良によって支えられてきました。新規な機能を有する物質の発見と効率的生产がさらに新しい技術を生み出し，大量生産を可能にするとともに産業の発展を促してきました。近年は先端技術分野で用いられる物質に対する要求が高度化し，従来とは異なった発想に基づく創造的生产技術が求められています。これからは，個々の過程を別個にとらえるのではなく，高い機能を有する物質の設計から機能を発現させる製造技術，そして高品質大量生産を可能にする生産プロセスまで，一つのシステムとしてとらえることが必要です。本専攻は，新規な物質の開発と生産技術，及びシステム化をめぐる課題を取り上げて教育研究を行います。

物質生産工学における3大講座の概要は次のとおりです。

○機能物質工学講座

従来からある無機材料・有機材料・高分子材料の高機能化及びそれらの複合化，ニューセラミックス，磁性材料などの新素材やエネルギー変換材料の合成・設計・評価，物質の構造と機能の関係など，今後の技術革新の鍵を握る高機能性材料の合成及び機能発現に関する教育研究を行います。

○生産プロセス工学講座

革新的な生産技術を開発するうえで必要となる設計生産工程のシステム的アプローチ，生産工程における動的特性の解析や精密生産技術の開発，さらにはこれらを可能にする自動制御システムや電源システムなど，生産プロセス全般にかかわる教育研究を行います。

○生産情報工学講座

製品の品質管理手法や製造工程における数理計画，情報化を進めるうえで重要な情報通信システム，人間を含めた生産工程や生産システムの効率化や管理に必要な並列分散処理，データベースシステム，及びソフトウェア工学など，開発から製造に至る生産プロセスのシステム化に関する教育研究を行います。

【環境工学専攻】

人類の諸活動が環境に与えるインパクトを解明するために，エネルギーと環境の関連，快適な環境の計画と設計，さらに知的活動の支援や環境をコントロールするための情報システムに関する教育研究を行います。

科学技術の進歩とともに生産活動が活発になるのに伴い，人間を取り巻く環境は急速に変化しています。無限とも思われてきた環境容量を超える生産活動は，今や地球規模で環境に重大な影響を及ぼしつつあり，調和のとれた発展が強く望まれます。一方，情報化社会の到来・生活水準の高度化などに伴い，快適な生活環境に対する要求が強くなっています。このような社会の要求に応えるためには，単なる問題解決型の取り組みのみによるものではなく，快適な自然環境と調和の取れた人工環境の創造という視点に立った人間工学的，情報・システム科学的観点からのアプローチが必要です。本専攻は，環境をめぐる種々の課題をエネルギー，環境設計，及び環境情報の観点から取り上げて教育研究を行います。

環境工学専攻における3大講座の概要は次のとおりです。

○エネルギーシステム工学講座

エネルギーの発生・輸送・貯蔵・消費などを総合的にとらえるもので、放電プラズマの計測・制御，超伝導を利用したエネルギーの貯蔵，燃焼・流動時の高温伝熱やその制御，電磁気の測定系の開発やエネルギーシステムの制御など，エネルギーを有効利用するシステムに関する教育研究を行います。

○環境設計工学講座

快適な生活環境の設計，福祉環境の向上を図るための住環境及び施設計画，さらに構造設計・耐震設計，建築材料と施工技術，微生物を用いた水環境の改善やニューバイオテクノロジーの有効利用，バイオリアクターを用いた地球環境保全技術の開発など，環境設計及び制御に関する教育研究を行います。

○環境情報工学講座

情報科学の基礎分野，機械学習，ヒューマンインタフェース，知識・知能システムなど人間機械系に関する分野，都市全体としての環境計画，資源と環境のかかわりなど，高度情報化社会に向けた情報システムや住環境の構築へのシステム工学的アプローチに関する教育研究を行います。

2. 博士後期課程の教育研究分野及び授業科目

専攻	講座	教育研究分野		授業科目名	担当教員
		名称	内容		
物質生産工学	機能物質工学	電子材料工学	磁性材料並びに誘電材料の機能発現機構の解明と新しい機能材料及び素子の開発や応用に必要な磁性工学, 結晶学, X線結晶学, 磁気共鳴結晶学, 磁気計測, 電磁界解析等に関する教育研究を行います。	磁気現象工学特論 磁性材料特論 数理科学特論 半導体デバイス解析技術特論 非線形動力学特論 機能材料工学特論 バイオメカニクス特論	榎園正人 戸高孝久 沖野隆久 益子洋治 長屋智之 佐久間俊雄 今戸啓二
		機能性無機材料工学	無機材料の物性, 分子認識の理解に必要な錯体形成に関する平衡, 相互作用及び炭素材料の物性などに関する教育研究を行います。	炭素材料工学特論 生体機能関連化学特論 機能性材料化学特論 セラミックス製造特論	豊田昌宏 天尾豊 永岡勝俊 津村朋樹
		機能性有機材料工学	有機化合物の基本的機能・応用技術, 有機化学反応の機構, 高性能高分子材料の高次の機能発現機構・分子素子設計の概念等の解明と工学的応用に関する教育研究を行います。	高分子材料工学特論 機能性有機材料特論 有機分子機能解析特論 理論有機化学特論 有機材料工学特論	氏家誠司 飯尾心 井上高教 大賀恭也 守山雅也
	生産プロセス工学	機構設計工学	材料・機器システムの設計手法の体系化, 内燃機関の各構成要素の動的特性と設計法との関連, システムの疲労特性と強度設計の評価方法に関する教育研究を行います。	内燃機関潤滑論 応用材料強度論 塑性加工学特論	濱後武俊 的藤真朗 場宏哲
		計測工学	車車などのような機械要素表面の加工法・精度の問題点, 機械装置・構造物の動的応答, 特に非線形振動現象の理解と解析法並びに計測法に関する教育研究を行います。	応用振動学特論 表面工学特論 非線形電磁気工学特論 数理シミュレーション特論	劉木孝宏 後下和久 高藤雄治 坂拓司
		電子制御工学	システム電源回路の解析, スイッチング方式によるエネルギー変換, さらにファジィ・ニューロなどの制御手法・ロバストなシステム同定技術の理論的解析に関する教育研究を行います。	学習制御システム特論 制御プロセスモデリング特論 電気エネルギー変換特論	柴田克成 松尾孝美 鍋島隆
	生産情報工学	数理情報	離散的な数学構造(例えば, コード, デザイン, グラフなど)に対して, 代数的な手法により解析を行います。特にそのような構造に作用する群の性質を深く調べることにより, 代数学と離散幾何学の融合を目指します。	代数的情報特論	田中康彦
		情報ネットワーク	電磁波の波動情報特性の解析・応用, UNIXによる計算機ネットワークの設計原理, 協調動作に関連する並行プログラミング支援システムなどに関する教育研究を行います。	波動情報工学特論 応用電磁波特論 計算機ネットワーク特論 並行プログラミング特論 可視化情報学特論 広帯域光ネットワーク特論	田中充人 工藤孝一 宇津宮孝和 吉田幸明 西野浩文 古賀正

専攻	講座	教育研究分野		授業科目名	担当教員
		名称	内容		
物質生産工学	生産情報工学	計算機システム	並列計算機の処理方式・制御方式，並列プログラミング言語，データベース基礎理論・実践的手法等に関する教育研究を行います。	並列計算機構特論 データベースシステム特論 知能化ソフトウェア特論	川口剛一 二村祥米 藤田米春
		熱流体工学	各種衝撃波の物理現象の解明と医学・工学への応用，流れを利用した機械の流力騒音・振動現象の解明とその制御・設計法及び反応を伴う流れに関する教育研究を行います。	衝撃波工学特論 乱流現象工学特論 応用流体力学特論 反応性ガス流体力学特論	鹿毛一之 山田英巳 濱川充俊 田上公俊
環境工学	エネルギーシステム工学	ふく射伝熱工学	各種装置における，熱や流体の流れ，物質拡散等の各種輸送現象を数値解析的に取り扱うための，基礎式や計算手法について教育研究を行います。	数値輸送現象工学特論	岩本光生
		電気エネルギー	種々の半導体電力回路とその制御技術・超伝導マグネットの物理的特性の解明及びリニアモータや磁気浮上の電磁力を利用する機器に関する教育研究を行います。	超伝導応用工学特論 電磁力応用特論	江崎忠男 小川幸吉
		プラズマ・電磁界応用	放電プラズマの発生とその計測法，静電気帯電現象を利用した各種装置及び電気流体力学による粉体・気泡輸送，液晶中の静電気現象に関する教育研究を行います。	放電プラズマ計測特論 電気流体解析特論 静電気工学特論	濱本誠一 大久保利誠 金澤誠司
		建築環境設計	ハンディキャップ者，特に高齢者や障がい者に配慮した住宅・生活施設・都市づくり及び建築環境における日射・照明・熱等の設計手法に関する教育研究を行います。	建築環境設計特論 福祉環境設計特論	真鍋正義 鈴木規弘
環境設計工学	環境生物学	構造設計工学	膜構造の構造計画・解析法，コンクリートの耐久性，コンクリートと他の材料との合成構造の設計法及び木造建物に対する構造設計法に関する教育研究を行います。	コンクリート工学特論 木質構造設計特論 特殊構造特論	佐藤嘉昭 井上正文 菊池健児
		環境生物学	工業微生物や酵素の生化学的特性と機能開発，バイオリクターやバイオプロセスの解析・設計・微生物システムの設計及び分子組織生体に関する教育研究を行います。	生物プロセス工学特論 生体機能分子化学特論 生物生産工学特論 分子工学特論 抗体工学特論	羽野忠一 石川雄誠 平田三美 宇田泰三 一二三恵
		人間環境	リハビリテーションや福祉工学応用を目的とした人間の計測とリハビリテーション及び生活支援環境設計に関する教育研究を行います。	人間動作解析特論	池内秀隆

専攻	講座	教 育 研 究 分 野		授 業 科 目 名	担 当 教 員
		名 称	内 容		
環境工学	環境情報工学	建築都市環境工学	建物周辺や室内の熱環境・空気環境の形成，都市の土地利用・人口分布・都市空間の物的構成及び音場解析と騒音制御に関する教育研究を行います。	都市システム工学特論 建築音響工学特論 空間情報工学特論	佐藤誠治 大鶴徹司 小林祐司
		知能情報	代数学の情報工学への応用，人間の知的活動のモデル化，自然言語・図表・画像等の処理，知識共有，知識抽出，生体データ解析等に関する教育研究を行います。	知能モデル構成論 ナレッジマネジメント特論 生体データ解析特論	伊藤哲郎 末田直道 越智義道
		ヒューマンインタフェース	計算機ソフトウェアの知能化，騒音・振動・音声・建築音響等の処理及び音声認識・音声合成を中心とした聴覚情報処理に関する教育研究を行います。	知能化ソフトウェア特論 聴覚情報処理特論	藤田米春 秋田昌憲

Fall Admission

(October 2010)

1. Entrance examination schedule

Division	First application
Application period	July 6, 2010(Tue) ~ July 14, 2010(Wed)
Examination date	August 17, 2010(Tue) ~ August 18, 2010(Wed)
Announcement of Results	August 31, 2010(Tue)

2. Admission Quotas

Major	Admission Quota
	For October 2010 admission
Materials Science and Production Engineering	A few
Energy and Environmental Engineering	A few

* Quotas for both majors include intakes under Admission for Working Adults.

* A few students will be admitted under Admission for International Students, but these are not included in official admission capacity.

3. Eligibility for Application

Individuals who satisfy any one of the following conditions shall be eligible to apply.

- (1) Completed, or expect to complete by September 2010, a Japanese Master,s degree or professional degree
- (2) Awarded, or expect to be awarded by September 2010, a degree comparable to a Japanese Master,s degree or professional degree in a country other than Japan (see Note 1 below)
- (3) Awarded, or expect to be awarded by September 2010, a degree comparable to a Japanese Master,s degree or professional degree by completing a course of study nominated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology that is offered within Japan by an educational institution of another country and recognized in the educational system of that country to be a graduate school course.
- (4) Graduated from an undergraduate program at a Japanese university or completed 16 years of formal education in another country and subsequently spent two or more years engaged in research at a university, research institute or similar organization, and, on the basis of the outcomes of that research, is judged by this Graduate School to possess academic ability equivalent or superior to that of a holder of a Japanese Master,s or professional degree (see Note 2 below)
- (5) Judged through individual eligibility screening by this Graduate School to have academic ability equivalent or superior to that of a holder of a Japanese Master,s or professional degree, and has reached 24 years of age (see Note 3 below)

Note 1:

Eligibility under this condition extends to those who have been awarded a degree comparable to a Japanese Master,s or professional degree by taking within Japan courses offered by means of distance education by an educational institution of another country.

Note 2:

Condition (4) is for those who have not completed a Japanese Master,s degree but have spent two or more years engaged in research at a university, research institute or similar organization. Such candidates are screened individually by the graduate school to which they seek admission on the basis of their research performance, and may be permitted to apply for admission to the graduate school,s Doctoral Course if they are judged to possess academic ability equivalent or superior to that of a holder of a Japanese Master,s or professional degree. Below, this process is termed “Applicant Eligibility Screening.”

Note 3:

Condition (5) is for those who are not qualified to graduate from an undergraduate degree course but have graduated from a junior college, higher college of technology, higher vocational school or miscellaneous school or completed a course of study at another educational facility, and are aged 24 years or over. Such candidates may be permitted to apply for admission to the graduate school,s Doctoral Course following Applicant Eligibility Screening.

* If you apply under condition (4) or (5), or if you have any other concerns about your eligibility, please contact the Entrance Examination Division before filing your application. For procedures relating to the recognition of eligibility for application, please refer to “Applicant Eligibility Screening for the Doctoral Course, Oita University Graduate School of Engineering” on page 53.

4. Examination Types

The different processes for selection of candidates for admission are listed below along with eligibility requirements for each.

(1) Examination for Regular Admission

Open to persons eligible under condition (1), (2), (3), (4) or (5) in “3. Eligibility for Application” above who do not wish to take the Examinations for Admission for Working Adults or International Students.

(2) Examinations for Admission

(a) Examination for Admission for Working Adults

Open to persons who meet any one of the following requirements and wish to take the Examination for Admission for Working Adults.

- Those eligible to apply under condition (1), (2) or (3) who, following graduation from university, have been working for two or more years as a regular employee of a company or other organization, and wish to be admitted while retaining their current post.
- Those eligible to apply under condition (4) who, following graduation from university, have been working for four or more years as a regular employee of a company or other organization (including the two or more years engaged in research as required under condition (4)), and wish to be admitted while retaining their current post.
- Those eligible to apply under condition (5) who, following graduation from the school or college concerned, have been working for four or more years as a regular employee of a company or other organization, and wish to be admitted while retaining their

current post.

(b) Examination for Admission for International Students

Open to non-Japanese nationals residing in Japan or seeking to reside in Japan with the resident status of "College Student" as stipulated in Annex 1 of the Immigration Control and Refugee Recognition Act, who wish to take the Examination for Special Admission for International Students.

5. Application Procedures

(1) Application submission period

Please submit your application between 9:00 a.m. and 5:00 p.m. on any weekday from Friday July 23 to Friday July 30, 2010.

Applications sent by mail must be received by 5:00 p.m. on Friday July 30.

(2) How to apply

(a) If you wish to apply, please discuss your research plans in advance with your preferred supervisor in your major of choice.


(b) Please ensure that you have all of the application documents listed below in order, and submit them in person or by postal mail. If you are submitting by post, please be sure to use the envelope provided and send your documents by registered mail.

Address for submission: Entrance Examination Division, Student Affairs Department, Oita University

700 Oaza Dannoharu, Oita-shi, Oita-ken 870-1192 JAPAN

(3) Application documents

Examination for Regular Admission

Application Form and Examination Voucher	Please complete the required sections on the designated form and affix a photograph of yourself (4 cm x 3 cm, upper body, facing the camera) to the designated place on the form.
Certificate of (Expected) Completion	This must be a certificate issued by the President (or Dean) of the university you attended. (Not necessary for applicants who expect to complete the Master,s Course in this Graduate School in September 2010.)
Academic Transcript	This must be issued by the President (or Dean) of the university you attended and in a sealed envelope.
Abstract of Master,s Thesis	Please use the designated form to write an abstract of 700 words or less in English (or 2,000 characters or less in Japanese). If you have not yet completed your Master,s course, you should instead provide the title of your Master,s thesis and a summary of research progress to date. Please attach copies of any academic papers, lectures, patents or other outputs associated with your Master's thesis.
Statement of (Intended) Research Plans	Please use the designated form to write a statement of 500 words or less in English (or 1,000 characters or less in Japanese) concerning the aims and concepts of the research topic or field you wish to address. This statement should be produced in consultation with your preferred research supervisor.
Proof of payment of the Application Fee (30,000 yen)	Please remit the payment to the designated bank account, using either of the following methods. (a) Payment at a Japan Post Bank or other financial institution within Japan Take the remittance form provided to a Japan Post Bank or other financial institution within Japan and complete payment procedures as directed. (b) Payment at some convenience stores within Japan Please access the dedicated payment page via the university website http://www.oita-u.ac.jp/ or directly at the URLs below, and follow the instructions to complete your payment. Regular URL for payment: http://www.oita-u.net/ Mobile telephone URL for payment: http://www.oita-u.net/mobile/  After you have paid the Application Fee, please affix proof of payment securely below the Examination Voucher. If you paid by method (a) above, the proof of payment is the Post Bank Payment Receipt (for submission to the university); if you paid by method (b) it is the certificate of payment (or receipt in some cases) issued by the convenience store. All processing fees are to be borne by the applicant. Please note that the requirement to pay the Application Fee is waived for Japanese Government Scholarship recipients, and for students completing a Master,s Course in this Graduate School in September 2010 who wish to continue their studies in the Doctoral Course.
Return Envelope for Examination Voucher	Please write your name, address and postal code on the envelope provided, and attach 350 yen,s worth of postage stamps. (You do not need to submit this envelope if you are submitting your application in person rather than by mail.)
Address Label for Sending Results	Please complete the label form provided.

Notes:

1. If you are applying on the basis of eligibility condition (4) or (5) and you do not hold a Master,s degree, you do not need to submit the Certificate of Completion, Academic Transcript or Abstract of Master,s Thesis.
2. All certificates must be originals. Copies will not be accepted.
3. Your Statement of (Intended) Research Plans must be stamped with the personal seal of your preferred research supervisor.

Examination for Admission for Working Adults

Please submit the following documents in addition to those listed in the Examination for Regular Admission section on page 36 of this guide.

Work History (Part 1: Work Details)	Please use the designated form to describe your work duties and your research activities in wider society, including as academic papers, research presentations, authored works, patents and utility models.
Work History (Part 2: Papers, presentations, patents, etc.)	
Enrollment Authorization	This must be produced on the designated form by the head of the division in which you work.

Examination for Admission for International Students

Please submit the following documents in addition to those listed in the Examination for Regular Admission section on page 36 of this guide.

Certification of the Official Foreign Registration	Only required if you are a non-Japanese national who already resides in Japan and has been issued with an Alien Registration Certificate.
Certification of Japanese Government Scholarship	If you are an international student who is receiving the Japanese Government Scholarship, please attach certification to that effect. (There is no designated format for this certification; it must be provided by the division administering your scholarship in the university you attend.)

6. Examination Methods

(1) Methods for selection of applicants

(a) Examination for Regular Admission

Applicants will be examined by means of a scholastic ability test and a review of documents submitted.

The scholastic ability test consists of a written test (specialist subjects and English language) and an interview.

(b) Examination for Admission for Working Adults

Applicants will be examined by means of a scholastic ability test and a review of documents submitted.

The scholastic ability test consists of an interview.

(c) Examination for Admission for International Students

Applicants will be examined in accordance with the procedures for Regular Admission. However, the written test will be on specialist subjects and Japanese language.

(2) Contents of the written test

(a) Specialist subjects (fundamental subjects in the applicant's preferred research area)

(b) English language (Japanese language for applicants for Admission for International Students applicants)

(3) Contents of the interview

(a) Interview for Regular Admission

Applicants will be tested and questioned on matters including their Master's thesis (or research progress in the case of those who have not yet completed a Master's

course), topics related to their preferred research areas, and plans for research after admission.

(b) Interview for Admission for Working Adults

Applicants will be tested and questioned on matters including specialist topics related to their preferred research areas, English language, research achievements and plans for research after admission. They will also be questioned about their Statement of Research Plans and Work History.

(c) Interview for Admission for International Students

The interview will follow the same format as the interview for applicants for Regular Admission.

(4) Dates and venues for the scholastic ability test

(a) Dates/times for the scholastic ability test

(i) Examinations for Regular Admission and Admission for International Students

Date	Test type		Test times
Tuesday August 17, 2010	Written test	Specialist subjects	9:00 a.m. to 11:00 a.m.
		English or Japanese	11:30 a.m. to 12:30 p.m.
	Interview		From 1:30 p.m.

Note: Applicants who expect to complete the Master's Course in this Graduate School in September 2010 are not required to take the written test.

(ii) Examination for Admission for Working Adults

Date	Test type	Test times
Tuesday August 17, 2010 or Wednesday August 18, 2010 Applicants may designate their preferred date.	Interview	From 1:30 p.m.

(b) Test venue: Faculty of Engineering, Oita University

700 Oaza Dannoharu, Oita-shi, Oita-ken, Japan

7. Announcement of Results

Admission results will be posted on the Oita University central notice board (in front of the Liberal Arts Education building) from 10:00 a.m. on Tuesday August 31, 2010. Successful applicants will also be sent a Letter of Acceptance by postal mail.

Successful applicants, Application Numbers will also be posted on the Oita University website (<http://www.oita-u.ac.jp/>).

Telephone inquiries regarding results will not be accepted under any circumstances.

8. Enrollment Procedures

Successful applicants will be sent necessary instructions on enrollment procedures together with their Letters of Acceptance.

9. Enrollment Fee and Tuition Fees

- (a) Enrollment Fee: 282,000 yen

Note: The requirement to pay the Enrollment Fee is waived for Japanese Government Scholarship recipients, and for students completing a Master's Course in this Graduate School in September 2010 who wish to continue their studies in the Doctoral Course.

- (b) Annual Tuition Fee: 535,800 yen (first semester installment 267,900 yen; second semester installment 267,900 yen)

Notes:

1. There are schemes in place for exemption, deferred payment and loan of Enrollment Fee and Tuition Fee amounts. You need to apply for these schemes before paying your fees: please contact the Student Assistance Group in the Student Assistance Division (telephone 097-554-7386) if you are interested.
2. Upon request, the second semester installment of the Tuition Fee can be paid at the same time as the first semester installment.
3. The Enrollment Fee and Tuition Fee amounts are subject to revision. If the Tuition Fee is revised while you are enrolled at the University, you will be required to pay the new amount.
4. Japanese Government Scholarship recipients do not need to pay these fees.

10. Important Notes

- (1) Test room seating plans will be distributed on the day of the scholastic ability test.
- (2) Applicants taking the written test for Regular Admissions or Admissions for International Students should assemble at the Student Affairs Section of the Faculty of Engineering by 8:40 a.m. on the day of the test.
- (3) Applicants taking the test for Admissions for Working Adults should assemble at the Student Affairs Section of the Faculty of Engineering by 1:10 p.m. on the day of the test.
- (4) Incomplete application documents will not be accepted.
- (5) Application documents and Application Fees will not be returned or refunded under any circumstances after they have been received.
- (6) You may use a computer or word processor to print your responses on the designated forms.
- (7) For each of the following documents, rather than using the original designated form, you may submit a document produced on a computer or word processor in the same format as the designated form: Abstract of Master's Thesis, Statement of (Intended) Research Plans, Work History (for Admissions for Working Adults), Enrollment Authorization (for Admissions for Working Adults), Applicant Eligibility Screening Request (for recognition of eligibility to apply), Applicant Eligibility Screening Information Form (for recognition of eligibility to apply), Statement of Research Achievements (for recognition of eligibility to apply).
Electronic versions of the designated forms above are available for download from the Oita University website in Microsoft Word for Windows format. For details, please contact the Entrance Examination Division (telephone 097-554-6701).
- (8) All personal information contained in application documents submitted by applicants will be handled in accordance with the Act on the Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Agencies, etc. and the Oita University Personal

Information Protection Policy. Such information will only be used in work associated with the selection of applicants for admission and incidental work such as statistical processing, and in screening processes for those who have applied for Enrollment Fee and Tuition Fee exemptions (or deferred payment) and scholarships.

- (9) Applicants found to have included false information in their applications may have their admission invalidated, even if they have already enrolled.

Spring Admission

(April 2011)

Fall Admission

(October 2011)

1. Entrance examination schedule

Division	First application	Second application	Third application
Application period	July 6, 2010 (Tue) ~July 14, 2010 (Wed)	January 3, 2011 (Mon) ~January 27, 2011 (Thu)	February 25, 2011 (Fri) ~March 3, 2011 (Thu)
Examination date	August 17, 2010 (Tue) ~August 18, 2010 (Wed)	February 16, 2011 (Wed) ~February 17, 2011 (Thu)	March 15, 2011 (Thu) ~March 16, 2011 (Wed)
Announcement of Results	August 31, 2010 (Tue)	February 25, 2011 (Fri)	March 19, 2011 (Sat)

* Second and third applications will be accepted when the admission quotas of the first application are under the upper limit.

* Second and third applications will be announced on the Oita University website.

2. Admission Quotas

Major	Admission Quota	
	For April 2011 admission	For October 2011 admission
Materials Science and Production Engineering	6 students	
Energy and Environmental Engineering	6 students	

* Quotas for both majors include intakes under Admission for Working Adults.

* A few students will be admitted under Admission for International Students, but these are not included in official admission capacity.

* Admission quotas for each division are 6 students both in April 2011 and October 2011

3. Eligibility for Application

April 2011 Admission:

Individuals who satisfy any one of the following conditions shall be eligible to apply.

- (1) Completed, or expect to complete by March 2011, a Japanese Master's degree or professional degree
- (2) Awarded, or expect to be awarded by March 2011, a degree comparable to a Japanese Master's degree or professional degree in a country other than Japan (see Note 1 below)
- (3) Awarded, or expect to be awarded by March 2011, a degree comparable to a Japanese Master's degree or professional degree by completing a course of study nominated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology that is offered within Japan by an educational institution of another country and recognized in the educational system of that country to be a graduate school program.
- (4) Graduated from an undergraduate course at a Japanese university or completed 16 years of formal education in another country and subsequently spent two or more years engaged in research at a university, research institute or similar organization, and, on the basis of the outcomes of that research, is judged by this Graduate School to possess academic ability equivalent or superior to that of a holder of a Japanese Master's or professional degree (see Note 2 below)
- (5) Judged through individual eligibility screening by this Graduate School to have academic ability equivalent or superior to that of a holder of a Japanese Master's or professional degree, and has reached 24 years of age (see Note 3 below)

October 2011 Admission:

Individuals who satisfy any one of the following conditions shall be eligible to apply.

- (1) Completed, or expect to complete by September 2011, a Japanese Master,s degree or professional degree
- (2) Awarded, or expect to be awarded by September 2011, a degree comparable to a Japanese Master,s degree or professional degree in a country other than Japan (see Note 1 below)
- (3) Awarded, or expect to be awarded by September 2011, a degree comparable to a Japanese Master,s degree or professional degree by completing a course of study nominated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology that is offered within Japan by an educational institution of another country and recognized in the educational system of that country to be a graduate school program.
- (4) Graduated from an undergraduate course at a Japanese university or completed 16 years of formal education in another country and subsequently spent two or more years engaged in research at a university, research institute or similar organization, and, on the basis of the outcomes of that research, is judged by this Graduate School to possess academic ability equivalent or superior to that of a holder of a Japanese Master,s or professional degree (see Note 2 below)
- (5) Judged through individual eligibility screening by this Graduate School to have academic ability equivalent or superior to that of a holder of a Japanese Master,s or professional degree, and has reached 24 years of age (see Note 3 below)

Note 1:

Eligibility under this condition extends to those who have been awarded a degree comparable to a Japanese Master,s or professional degree by taking within Japan courses offered by means of distance education by an educational institution of another country.

Note 2:

Condition (4) is for those who have not completed a Japanese Master,s degree but have spent two or more years engaged in research at a university, research institute or similar organization. Such candidates are screened individually by the graduate school to which they seek admission on the basis of their research performance, and may be permitted to apply for admission to the graduate school,s Doctoral Course if they are judged to possess academic ability equivalent or superior to that of a holder of a Japanese Master,s or professional degree. Below, this process is termed “Applicant Eligibility Screening” .

Note 3:

Condition (5) is for those who are not qualified to graduate from an undergraduate degree course but have graduated from a junior college, higher college of technology, higher vocational school or miscellaneous school or completed a course of study at another educational facility, and are aged 24 years or over. Such candidates may be permitted to apply for admission to the graduate school’s Doctoral Course following Applicant Eligibility Screening.

* If you apply under condition (4) or (5), or if you have any other concerns about your eligibility, please contact the Entrance Examination Division before filing your application. For procedures relating to the recognition of eligibility for application, please refer to “Applicant Eligibility Screening to the Doctoral Course, Oita University Graduate School of Engineering” on page 53.

4. Examination Types

The different processes for selection of candidates for admission are listed below along with eligibility requirements for each.

(1) Examination for Regular Admission

Open to persons eligible under condition (1), (2), (3), (4) or (5) in “3. Eligibility for Application” above who do not wish to take the Examinations for Admission for Working Adults or International Students.

(2) Examinations for Admission

(a) Examination for Admission for Working Adults

Open to persons who meet any one of the following requirements and wish to take the Examination for Admission for Working Adults.

- Those eligible to apply under condition (1), (2) or (3) who, following graduation from university, have been working for two or more years as a regular employee of a company or other organization, and wish to be admitted while retaining their current post.
- Those eligible to apply under condition (4) who, following graduation from university, have been working for four or more years as a regular employee of a company or other organization (including the two or more years engaged in research as required under condition (4)), and wish to be admitted while retaining their current post.
- Those eligible to apply under condition (5) who, following graduation from the school or college concerned, have been working for four or more years as a regular employee of a company or other organization, and wish to be admitted while retaining their current post.

(b) Examination for Admission for International Students

Open to non-Japanese nationals residing in Japan or seeking to reside in Japan with the resident status of “College Student” as stipulated in Annex 1 of the Immigration Control and Refugee Recognition Act, who wish to take the Examination for Admission for International Students.

5. Application Procedures

(1) Application submission period

Please submit your application between 9:00 a.m. and 5:00 p.m. on any weekday from Friday July 23 to Friday July 30, 2010.

Applications sent by mail must be received by 5:00 p.m. on Friday July 30.

※ Please refer to page 43 the entrance examination schedule of second application and third application.

(2) How to apply


- (a) If you wish to apply, please discuss your research plans in advance with your preferred supervisor in your major of choice.
- (b) Please ensure that you have all of the application documents listed below in order, and submit them in person or by postal mail. If you are submitting by post, please be sure to use the envelope provided and send your documents by registered mail.

Address for submission: Entrance Examination Division, Student Affairs Department, Oita University.

700 Oaza Dannoharu, Oita-shi, Oita-ken 870-1192 JAPAN

(3) Application documents

Examination for Regular Admission

Application Form and Examination Voucher	Please complete the required sections on the designated form and affix a photograph of yourself (4 cm x 3 cm, upper body, facing the camera) to the designated place on the form.
Certificate of (Expected) Completion	This must be a certificate issued by the President (or Dean) of the university you attended. (Not necessary for applicants who expect to complete the Master,s Course in this Graduate School in March 2011.)
Academic Transcript	This must be issued by the President (or Dean) of the university you attended and in a sealed envelope.
Abstract of Master's Thesis	Please use the designated form to write an abstract of 700 words or less in English (or 2,000 characters or less in Japanese). If you have not yet completed your Master,s course, you should instead provide the title of your Master,s thesis and a summary of research progress to date. Please attach copies of any academic papers, lectures, patents or other outputs associated with your Master,s thesis.
Statement of (Intended) Research Plans	Please use the designated form to write a statement of 500 words or less in English (or 1,000 characters or less in Japanese) concerning the aims and concepts of the research topic or field you wish to address. This statement should be produced in consultation with your preferred research supervisor.
Proof of payment of the Application Fee (30,000 yen)	Please remit the payment to the designated bank account, using either of the following methods. (a) Payment at a Japan Post Bank or other financial institution within Japan Take the remittance form provided to a Japan Post Bank or other financial institution within Japan and complete payment procedures as directed. (b) Payment at some convenience stores within Japan Please access the dedicated payment page via the university website http://www.oita-u.ac.jp/ or directly at the URLs below, and follow the instructions to complete your payment. Regular URL for payment: http://www.oita-u.net/ Mobile telephone URL for payment: http://www.oita-u.net/mobile/  After you have paid the Application Fee, please affix proof of payment securely below the Examination Voucher. If you paid by method (a) above, the proof of payment is the Post Bank Payment Receipt (for submission to the university); if you paid by method (b) it is the certificate of payment (or receipt in some cases) issued by the convenience store. All processing fees are to be borne by the applicant. Please note that the requirement to pay the Application Fee is waived for Japanese Government Scholarship recipients, and for students completing a Master,s Course in this Graduate School in March 2011 or September 2011 who wish to continue their studies in the Doctoral Course.
Return Envelope for Examination Voucher	Please write your name, address and postal code on the envelope provided, and attach 350 yen,s worth of postage stamps. (You do not need to submit this envelope if you are submitting your application in person rather than by mail.)
Address Label for Sending Results	Please complete the label form provided.

Notes:

1. If you are applying on the basis of eligibility condition (4) or (5) and you do not hold a Master,s degree, you do not need to submit the Certificate of Completion, Academic Transcript or Abstract of Master,s Thesis.
2. All certificates must be originals. Copies will not be accepted.
3. Your Statement of (Intended) Research Plans must be stamped with the personal seal of your preferred research supervisor.

Examination for Admission for Working Adults

Please submit the following documents in addition to those listed in the Examination for Regular Admission section on page 46 of this guide.

Work History (Part 1: Work Details)	Please use the designated form to describe your work duties and your research activities in wider society, including as academic papers, research presentations, authored works, patents and utility models.
Work History (Part 2: Papers, presentations, patents, etc.)	
Enrollment Authorization	This must be produced on the designated form by the head of the division in which you work.

Examination for Admission for International Students

Please submit the following documents in addition to those listed in the Examination for Regular Admission section on page 46 of this guide.

Certification of the Official Foreign Rezistration	Only required if you are a non-Japanese national who already resides in Japan and has been issued with an Alien Registration Certificate.
Certification of Japanese Government Scholarship	If you are an international student who is receiving the Japanese Government Scholarship, please attach certification to that effect. (There is no designated format for this certification; it must be provided by the division administering your scholarship in the university you attend.)

6. Examination Methods

(1) Methods for selection of applicants

(a) Examination for Regular Admission

Applicants will be examined by means of a scholastic ability test and a review of documents submitted.

The scholastic ability test consists of a written test (specialist subjects and English language) and an interview.

(b) Examination for Admission for Working Adults

Applicants will be examined by means of a scholastic ability test and a review of documents submitted.

The scholastic ability test consists of an interview.

(c) Examination for Admission for International Students

Applicants will be examined in accordance with the procedures for Regular Admission.

However, the written test will be on specialist subjects and Japanese language.

(2) Contents of the written test

(a) Specialist subjects (fundamental subjects in the applicant,s preferred research area)

(b) English language (Japanese language for applicants for Admission for International Students applicants)

*Applicants currently enrolled in a Master's course will be subject to a First Round and Second Round screening process. The First Round Screening shall consist of a review of application documents and the scholarly aptitude test held on Tuesday August 17, 2010. Applicants who successfully complete this First Round shall undergo a Second Round Screening consisting of an interview, held on a date to be advised by each Division around the time that applicants complete their Master's Theses

(mid February 2011 for Master,s students completing in March 2011; mid August for Master,s students completing in April 2011 or later).

(3) Contents of the interview

(a) Interview for Regular Admission

Applicants will be tested and questioned on matters including their Master,s thesis (or research progress in the case of those who have not yet completed a Master,s course), topics related to their preferred research areas, and plans for research after admission.

(b) Interview for Admission for Working Adults

Applicants will be tested and questioned on matters including specialist topics related to their preferred research areas, English language, research achievements and plans for research after admission. They will also be questioned about their Statement of Research Plans and Work History.

(c) Interview for Admission for International Students

The interview will follow the same format as the interview for applicants for Regular Admission.

(4) Dates and venues for the scholastic ability test

(a) Dates/times for the scholastic ability test

(i) Examinations for Regular Admission and Admission for International Students

Date	Test type		Test times
Tuesday August 17, 2010	Written test	Specialist subjects	9:00 a.m. to 11:00 a.m.
		English or Japanese	11:30 a.m. to 12:30 p.m.
	Interview		From 1:30 p.m.

Note: Applicants who expect to complete the Master,s Course in this Graduate School in March 2011 or September 2011 are not required to take the written test.

※ Please refer 1 of page 43 the entrance examination scedule of second application and third application.

(ii) Examination for Admission for Working Adults

Date	Test type	Test times
Tuesday August17, 2010 or Wednesday August 18, 2010 Applicants may designate their preferred date.	Interview	From 1:30 p.m.

※ Please refer 1 of page 43 the entrance examination schedule of second application and third application.

(b) Test venue: Faculty of Engineering, Oita University

700 Oaza Dannoharu, Oita-shi, Oita-ken, Japan

7. Announcement of Results

Admission results will be posted on the Oita University central notice board (in front of the Liberal Arts Education building) from 10:00 a.m. on Tuesday August 31, 2010. Successful applicants will also be sent a Letter of Acceptance by postal mail.

Successful applicants, Application Numbers will also be posted on the Oita University website (<http://www.oita-u.ac.jp/>).

Telephone inquiries regarding results will not be accepted under any circumstances.

Please note that for applicants completing their Master's degrees in March 2011 or later, admission results will be announced as follows:

- (a) Announcement of successful applicants in First Round Screening: Posted on the Oita University central notice board (in front of the Liberal Arts Education building) from 10:00 a.m. on Tuesday August 31, 2010. Successful applicants will also be sent a Notice of Successful Completion of First Round Screening by postal mail.
- (b) Announcement of successful applicants in Second Round Screening: For applicants completing their Master,s degrees in March 2011, results will be posted on the Oita University central notice board (in front of the Liberal Arts Education building) and Letters of Acceptance sent by postal mail to successful applicants in early March, 2011. For applicants completing their Master,s degrees in April 2011 or later, results will be posted and Letters of Acceptance sent in mid September 2011.

8. Enrollment Procedures

Successful applicants will be sent necessary instructions on enrollment procedures together with their Letters of Acceptance.

※ Please refer to page 43 the entrance examination schedule of second application and third application.

9. Enrollment Fee and Tuition Fees

- (a) Enrollment Fee: 282,000 yen

Note: The requirement to pay the Enrollment Fee is waived for Japanese Government Scholarship recipients, and for students completing a Master,s Course in this Graduate School in March 2011 who wish to continue their studies in the Doctoral Course. It is also waived for students completing a Master,s Course in this Graduate School in September 2011 who wish to continue their studies in the Doctoral Course.

- (b) Annual Tuition Fee: 535,800 yen (first semester installment 267,900 yen; second semester installment 267,900 yen)

Notes:

1. There are schemes in place for exemption, deferred payment and loan of Enrollment Fee and Tuition Fee amounts. You need to apply for these schemes before paying your fees: please contact the Student Assistance Group in the Student Assistance Division (telephone 097-554-7386) if you are interested.
2. Upon request, the second semester installment of the Tuition Fee can be paid at the same time as the first semester installment.
3. The Enrollment Fee and Tuition Fee amounts are subject to revision. If the Tuition Fee is revised while you are enrolled at the University, you will be required to pay the new amount.
4. Japanese Government Scholarship recipients do not need to pay these fees.

10. Important Notes

- (1) Test room seating plans will be distributed on the day of the scholastic ability test.
- (2) Applicants taking the written test for Regular Admissions or Admissions for International Students should assemble at the Student Affairs Section of the Faculty of Engineering by 8:40 a.m. on the day of the test.
- (3) Applicants taking the test for Admissions for Working Adults should assemble at the Student Affairs Section of the Faculty of Engineering by 1:10 p.m. on the day of the test.
- (4) Incomplete application documents will not be accepted.
- (5) Application documents and Application Fees will not be returned or refunded under any circumstances after they have been received.
- (6) You may use a computer or word processor to print your responses on the designated forms.
- (7) For each of the following application documents, rather than using the original designated form, you may submit a document produced on a computer or word processor in the same format as the designated form: Abstract of Master,s Thesis, Statement of (Intended) Research Plans, Work History (for Admissions for Working Adults), Enrollment Authorization (for Admissions for Working Adults), Applicant Eligibility Screening Request (for recognition of eligibility to apply), Applicant Eligibility Screening Information Form (for recognition of eligibility to apply), Statement of Research Achievements (for recognition of eligibility to apply).
Electronic versions of the designated forms for the above documents are available for download from the Oita University website in Microsoft Word for Windows format. For details, please contact the Entrance Examination Division (telephone 097-554-6701).
- (8) All personal information contained in application documents submitted by applicants will be handled in accordance with the Act on the Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Agencies, etc. and the Oita University Personal Information Protection Policy. Such information will only be used in work associated with the selection of applicants for admission and incidental work such as statistical processing, and in screening processes for those who have applied for Enrollment Fee and Tuition Fee exemptions (or deferred payment) and scholarships.
- (9) Applicants found to have included false information in their applications may have their admission invalidated, even if they have already enrolled.

Information for all Applicants

Doctoral Course Applicant Eligibility Screening,
Oita University Graduate School of Engineering

Long-term Study System

Advance Consultation for Applicants with Disabilities, etc.

Education and Research Areas in the Doctoral Course

Oita University Location and Campus Map

Doctoral Course Applicant Eligibility Screening, Oita University Graduate School of Engineering

1. If you have not completed a Master's degree and are applying under eligibility conditions (4) or (5) of page 33, 43 of Admission Guide, you will need to undergo an Applicant Eligibility Screening in the Graduate School of Engineering prior to submitting your formal application. After contacting the Entrance Examination Division to discuss your case in advance, please prepare a Applicant Eligibility Screening Request, Applicant Eligibility Screening Information Form, Statement of Research Achievements, certificate of graduation and one copy or separate printing of each of your research papers, etc., and submit these documents to the Entrance Examination Division on the following period of time. (Copies and separate printings of research papers, etc. will be returned to you later.) Electronic versions of the Applicant Eligibility Screening Request and other designated forms are available for download from the Oita University website in Microsoft Word for Windows format. For details, please contact the Entrance Examination Division (telephone 097-554-6701).

First application : July 5, 2010 (Mon) ~ July 14, 2010 (Wed)

Second application : January 11, 2011 (Tue) ~ January 19, 2011 (Wed)

Third application : February 7, 2011 (Mon) ~ February 16, 2011 (Wed)

2. You will be notified of the results of your Applicant Eligibility Screening by Thursday July 22, 2010.
【second application : January 27, 2011 (Thu) Third application : February 24, 2011 (Thu)】
3. Please do not start the formal application process until you have received the results of your Applicant Eligibility Screening.

Long-term Study System

Working adults and others admitted to the Doctoral Course in the Oita University Graduate School of Engineering may be permitted to make use of the Long-term Study System.

This system allows students who find it difficult to study full-time at the university due to work commitments or other special circumstances to remain enrolled in excess of the standard term of completion (3 years for the Doctoral Course), undertaking an organized course of study and completing the Course in their preferred term, which can be anything between 3 years 6 months and 6 years. Tuition Fees are calculated on a pro rata basis in accordance with the terms stated below.

The following students are eligible for the Long-term Study System:

- (i) Working Adult students
- (ii) Students admitted by the Dean of the Graduate School to have special need to access the system

If you wish to make use of this system, you will need to apply when completing enrollment procedures or within one year after enrolling.

Advance Consultation for Applicants with Disabilities, etc.

Individuals with disabilities and other special needs who wish to gain admission to the university and may require special consideration in entrance examinations and study after enrollment should prepare a letter (no designated format) outlining the following matters. This letter should be submitted to the Entrance Examination Division by Monday August 2, 2010, accompanied by a medical certificate.

【second application : January 31, 2011 (Mon) Third application : February 28, 2011 (Mon)】

- The nature and extent of the disability
- Form of special consideration requested during the entrance examination process
- Form of special consideration requested while studying at the university
- Everyday living conditions and/or any other pertinent information

Education and Research Areas in the Doctoral Course

1. Outline of the Department

Department of Materials Science and Production Engineering

In this program we examine materials as basic functional elements constituting our contemporary society. We conduct research and carry out educational activities to gain an understanding of the functions of materials and development of production techniques, as well as technology for the generation and processing of the various types of data associated with these materials.

Progress in science and technology to date has been sustained by the discovery of new materials and the development of better techniques for producing them. The identification and efficient production of materials with novel applications has operated in turn to generate new technology, enabling mass production and fueling advancements in industry. The demand for materials for use in frontier technology fields has been intensifying in recent years. As a result, we need to develop creative production techniques that use ideas and approaches different from those employed to date. Henceforth, rather than treating each stage of the development process separately, we must conceive systems that incorporate everything from the design of materials with new functions, through manufacturing technology to realize these functions, to production processes that make high-quality mass production possible. Education and research in this Department addresses these issues of new materials development, production techniques and systematization.

The three major courses in the Department of Materials Science and Production Engineering are as follows.

○ Intelligent Materials

In this course students will study the synthesis and identification of functional properties of high-functionality materials that hold the key to future technological innovation. This includes the realization of advanced functionality for existing inorganic, organic and macromolecular materials and combinations thereof, the synthesis, design and evaluation of new ceramics, magnetic materials and other new substances as well as energy conversion materials, and the relationships between the structure and function of materials.

○ Production Process

In this course students study the systematization of production process, including systematic approaches to design and production flow necessary in the development of revolutionary production technology, analysis of dynamic characteristics of the production process and development of precision manufacturing techniques, together with automatic control, power supply and other systems to make these developments possible.

○ Production Management

In this course students study the systematization of production processes right through from development to manufacture. This includes product quality control methods, mathematical programming in manufacturing processes, information and communication systems crucial to the advancement of computerization, parallel distributed processing necessary in management and efficiency gains in production processes and systems—including in human terms, database systems, and software engineering.

Department of Energy and Environmental Engineering

The aim of education and research of the programs in this department is to gain an understanding of the environmental impacts of human activities. The focus of these programs is to investigate the relationship between energy and environment, planning and design of livable environments, information systems to control environments, and support for intellectual activity.

The increase in industrial production activity along with advances in science and technology have brought rapid changes to our environment in which humans live. The environment was previously thought to have an infinite capacity to absorb this production activity; but now, we are beginning to feel serious environmental effects on a global scale, underlining the pressing need for a more harmonized approach to development. On the other hand, the demand for more comfortable living environments is growing in line with advances in living standards and the rise of the information society. In order to address these social needs, rather than relying on simple problem-solving approaches, we need to adopt approaches based on ergonomics and information and systems science to create agreeable natural environment that are balanced with man-made environments. In this department, the main goal of education and research is to examine a range of environmental

issues from the standpoints of energy, environmental design and environmental information.

The three major courses in the department of Energy and Environmental Engineering are as follows.

○ Energy System

This course will take an integrated approach to issues including the generation, transportation, storage and consumption of energy, pursuing education and research on systems to make effective use of energy. Topics addressed include measurement and control of discharge plasma, energy storage using superconductors, development of electromagnetic measuring systems, and control of energy systems.

○ Environmental Design

This course will focus on issues in environmental design and control, including the design of amenable living environments, housing and facilities planning to achieve improvements

in environment, structural and earthquake-resistant design, construction materials and building technology, amelioration of water environments using microorganisms, effective use of new biotechnology, and the development of global environmental conservation technologies employing bioreactors.

○ Environmental Information

Research and education in this course will examine the information-intensive society and systems that are based on approaches to the development of living environments. Students will study fundamental areas of information science, fields related to human-machine systems such as machine learning, human interfaces, knowledge intelligence systems, pan -urban environment design, and the relationship between resources and environment.

2. Doctoral Course Education and Research Areas and Subjects

Division	Course	Education and Research Field		Subjects Offered	Instructors
		Name	Description		
Materials Science and Production Engineering	Intelligent Materials	Electronic Material Science	Education and research in magnetic engineering, crystallography, X-ray crystallography, magnetic resonance crystallography, magnetic measurement and electromagnetic field analysis for the development and application of new functional materials and elements and the explication of functional mechanisms of magnetic and dielectric materials.	Advanced Magnetic Phenomena Engineering Advanced Magnetic Materials Advanced Mathematical Science Advance Analysis and evaluation technology for semiconductor devices Advanced Nonlinear Dynamics Processing and Properties of Smart Materials Advanced Biomechanics	Masato Enokizono Takashi Todaka Takahisa Okino Yoji Mashiko Tomoyuki Nagaya Toshio Sakuma Keiji Imado
		Engineering of Functional Inorganic Materials	Education and research on the properties of carbon materials and equilibrium and interaction in the formation of complexes necessary for understanding inorganic material properties and molecular recognition.	Advanced Carbon Materials Advanced Biofunctional Chemistry Chemistry of Functional Materials Advanced Ceramics Manufacturing	Masahiro Toyoda Yutaka Amao Katutoshi Nagaoka Tomoki Tsumura
		Engineering of Functional Organic Materials	Education and research to comprehend concepts and engineering applications in the areas of molecular device design and higher-order functional mechanisms of high-functioning polymers, mechanisms of organic chemical reactions, and basic functions and applications of organic compounds.	Advanced Polymer Materials Advanced Functional Organic Materials Mechanistic Investigation of Organic Molecules Advanced Theoretical Organic Chemistry Advanced Organic Materials Engineering	Seiji Ujiie Kokoro Iio Takanori Inoue Yasushi Oga Masasya Moriyama
	Production Process	Mechanics and Design	Education and research on the organization of design methods for materials and instrument systems, the dynamic characteristics of internal combustion engine components and the relationship thereof to design methods, and the characteristics of system fatigue and strength design evaluation methods.	Lubrication of Internal Combustion Engines Applied Mechanics and Strength of Solids Advanced Theory of Plasticity	Toshiro Hamatake Masahiro Goto Tetsu Matoba

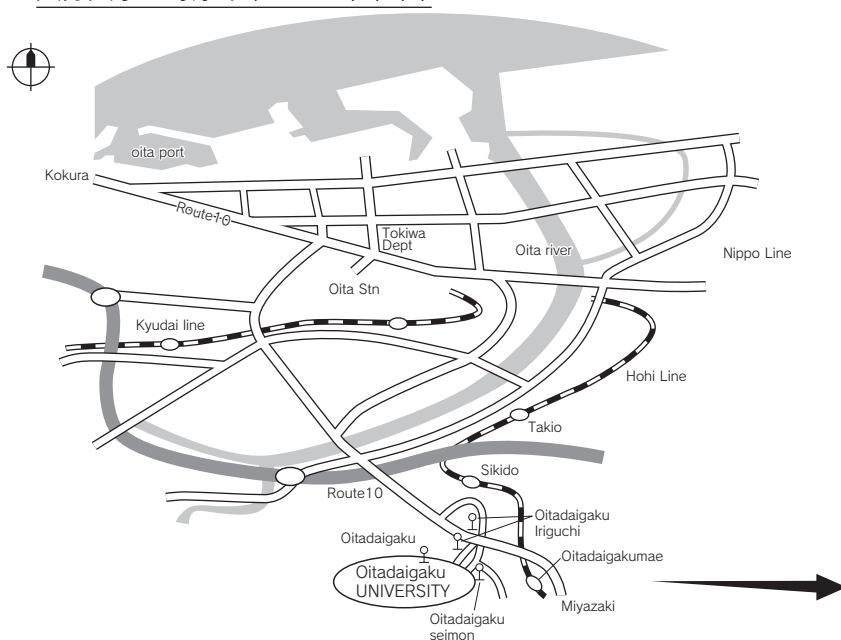
Division	Course	Education and Research Field		Subjects Offered	Instructors
		Name	Description		
Materials Science and Production Engineering	Production Process	Measurement Engineering	Education and research on surface manufacturing methods and precision problems in gears and other machinery components, dynamic response of mechanical devices and constructions, and particularly comprehension, analysis methods and measurement techniques for nonlinear vibration phenomena.	Applied Theory of Mechanical Vibration Advanced Surface Engineering Advanced Nonlinear Electromagnetic Engineering Advanced Mathematical Simulation	Takahiro Ryu Kazuhisa Kinoshita Yuji Goto Takuji Kosaka
		Electronic Control Systems Engineering	Education and research on system power circuits, energy conversion through the switching method, and theoretical analysis of robust system identification technology and fuzzy-neuro control techniques.	Advanced Learning of Control Systems Modeling and Analysis of Control Processes Electric Energy Conversion	Katsunari Shibata Takami Matsuo Takashi Nabeshima
	Production Management	Mathematical Analysis	we will take algebraic approaches to discrete mathematical structures such as codes, designs, and graphs. Properties of groups acting on those structures have central roles in our analysis. As a result, we will arrive at a starting point to a fusion of algebra and discrete geometry	Algebraic Theory for Computer Science	Yasuhiko Tanaka
		Computer Systems	Education and research on parallel computer processing and control methods, parallel programming languages, and basic theories and methods in the use of databases.	Parallel Computing Systems Advanced Database Systems Advanced Intelligent Software	Tsuyoshi Kawaguchi Shoichi Futamura Yoneharu Fujita
		Information Network	Education and research concerning the analysis and application of electromagnetic wave motion data characteristics, computer network design principles using UNIX, and support systems for parallel programming related to coordinated motion.	Advanced Electromagnetic Wave Engineering Application of Electromagnetic Waves Computer Networks Advanced Linear Programming Advanced Visual Informatics Wide-band Optical Networks	Mitsuru Tanaka Takato Kudo Koichi Utsumiya Kazuyuki Yoshida Hiroaki Nishino Masafumi Koga

Division	Course	Education and Research Field		Subjects Offered	Instructors
		Name	Description		
Energy and Environmental Engineering	Energy System	Thermo-Fluid Engineering	Education and research toward explication of physical phenomena surrounding different types of shock waves and the medical and engineering applications thereof; and explication of the fluid-acoustic and vibratory phenomena surrounding machinery employing flow technology and control, design methods and reactions associated therewith.	Advanced Shock Wave Engineering Advanced Turbulent Phenomena Engineering Applied Fluid Mechanics Advanced Reacting Flow Mechanics	Kazuyuki Kage Hidemi Yamada Hiromitsu Hamakawa Kimitoshi Tanoue
		Radiation Heat Transfer Engineering	Education and research on basic equations and calculation methods for numerical analytical treatment of heat and fluid flows, substance diffusion and other transport phenomena in various types of equipment.	Advanced Computational Transport Phenomena	Mitsuo Iwamoto
		Electric Energy	Education and research for explication of the physical characteristics of different types of semiconductor power circuits, technology for their control, and superconductive magnets; and on linear motors and devices using electromagnetic levitation.	Advanced Applied Superconductivity Advanced Theory of Electromagnetic	Tadao Ezaki Kokichi Ogawa
		Plasma and Electro-magnetic Field Applications	Education and research on discharge plasma and methods for the measurement thereof, equipment employing electrostatic charging and electro hydrodynamic transport of powders and bubbles, and electrostatic phenomena in liquid crystals.	Advanced Electric Discharge and Plasma Engineering Advanced Electro hydrodynamic Analysis Advanced Electrostatics	Makoto Hamamoto Toshikazu Okubo Seiji Kanazawa
	Environmental Design	Architectural Design and Environmental Plan	Education and research on design methods in areas such as sunlight, artificial lighting and heating in housing, living facilities, urban development and architectural environments attuned to the needs of those with handicaps, particularly the elderly and disabled.	Advanced Architectural Environmental Design Advanced Theory of Human Welfare Environment Design	Masaki Manabe Yoshihiro Suzuki
		Structural Design and Material Design	Education and research on structural planning and analysis methods for membrane structures, concrete durability, design methods for compositional structures combining concrete and other materials, and structural design methods for wooden structures.	Advanced Concrete Technology Design of Wooden Structures Advanced Structural Design of Composite Structures	Yoshiaki Sato Masafumi Inoue Kenji Kikuchi

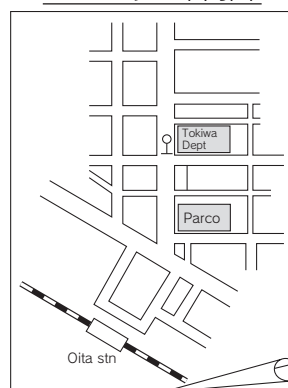
Division	Course	Education and Research Field		Subjects Offered	Instructors
		Name	Description		
Energy and Environmental Engineering	Environmental Bioengineering	Environmental Bioengineering	Education and research on biochemical characteristics and functional development of industrial microorganisms and enzymes, analysis and design of bioreactors and bioprocesses, design of microbial systems, and molecular organization and organisms.	Advanced Bioprocess Engineering Advanced Bio functional Molecular Assembly Advanced Bioproduction Engineering Advanced Molecular Engineering Advanced Antibody Engineering	Tadashi Hano Yuichi Ishikawa Makoto Hirata Taizo Uda Emi Hifumi
		Human Life Support - Technology	Education and research on measurement of human movement for rehabilitation and welfare engineering applications, and rehabilitation and living support environment design.	Advanced Human Movement Analysis	Hidetaka Ikeuchi
	Environmental Design	Environmental Engineering and Urban Design	Education and research on the formation of thermal and atmospheric environments of building surrounds and indoors, the physical makeup of urban spaces, population distribution and urban land use, and urban sound field analysis and noise pollution control.	Human Moving Analysis Advanced Architectural Acoustics Advanced Spatial Information Engineering	Seiji Sato Toru Otsuru Yuji Kobayashi
		Intelligence Information	Research and education on the application of algebraic theory to information engineering, modeling of intelligent human behavior, natural language, diagrammatic and image processing, knowledge-sharing, knowledge extraction, and biomedical data analysis.	Design of Intelligent Models Advanced Knowledge Management Advanced Biomedical Data Analysis	Tetsuro Ito Naomichi Sueda Yoshimichi Ochi
	Environmental Information	Human Interface	Research and education on the development of intelligent computer software, and auditory information processing centered on the processing of noise, vibrations, voices and building acoustics, speech recognition and speech synthesis.	Advanced Intelligent Software Advanced Processing of Speech and Hearing	Yoneharu Fujita Masanori Akita

大分大学位置図及び学内案内図

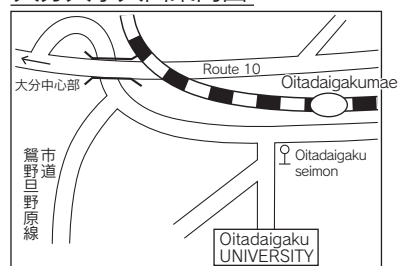
大分大学巨野原キャンパス位置図



バスのりば案内図



大分大学入口案内図



●交通アクセス

< JR利用 >

JR豊肥本線「大分大学前駅」下車（大分駅より約12分：240円）

< バス利用 >

大分バス トキハデパート前から「高江ニュータウン」・大南団地）又は「大分大学」行きを利用。

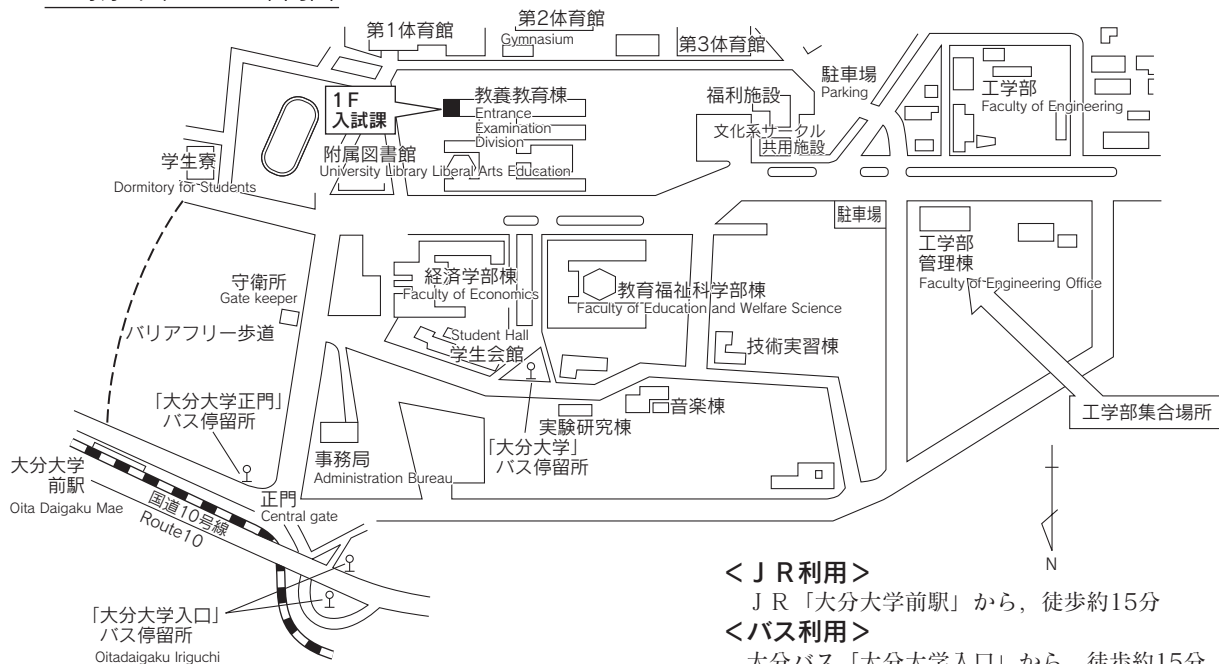
「大分大学」又は「大分大学正門」下車…（約40分：360円），又は「戸次，白杵，竹田，佐伯」行き等を利用。

「大分大学入口」下車…（約40分：350分），工学部まで徒歩約15分。

(Transportation from Downtown)

- (1) Train : At Oita Station, change to the JR Hohi Line from the JR Nippo Line and get off at Oitadaigakumae Station. The faculty of Engineering is about a 15 minute walk.
- (2) Bus : Take a city bus for Oita Daigaku or Dainandanchi at the bus stop in front of Tokiwa Department Store and get off at Oita Daigaku (one way, 360yen). Any bus bound for Hetsugi, Usuki, Taketa, and Saiki is also available from the same bus stop to Oita Daigaku Iriguchi (one way, 350yen, about 40 minutes). The Faculty of Engineering (Kogakubu) is a 15 minute walk from the bus stop you get off.
- (3) Taxi : A taxi from Oita Station takes about 25 minutes and costs about 2,500yen.

巨野原キャンパス案内図



< JR利用 >

JR「大分大学前駅」から，徒歩約15分

< バス利用 >

大分バス「大分大学入口」から，徒歩約15分

問い合わせ先

出願にあたって不明な点等があった場合の照会は、下記に行ってください。

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課

TEL 097-554-6701

Inquiries

Please inquire below if you have any questions or concerns about the application process.

Entrance Examination Division, Student Affairs Department, Oita University
700 Ooaza Dannoharu, Oita-shi, Oita-ken 870-1192 Japan
Telephone 097-554-6701

この募集要項の内容はホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) にも掲載されています。

These Admission Guidelines are also published on the university website: <http://www.oita-u.ac.jp/>